

令和6年度第7回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和6年7月30日（火）13：30～13：45
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 福本教育長
正司委員 今井委員 山下委員 本田委員（WEB） 吉井委員
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 0名（一般0名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（福本教育長）

それでは、教育委員会会議を始めます。本日は、本田委員がリモートでの参加となります。よろしいでしょうか。

本日は議案5件、協議事項3件、報告事項2件です。まず、非公開事項についてお諮りいたします。議題のうち、教第21号議案、教第22号議案については、教育委員会会議規則第10条第1項第2号により、職員の人事に関する事。教第18号議案、報告事項1については、同項第3号により、長の作成する議会の議案に関する事。教第20号議案については、同項第4号により、社会教育委員及び法律又は条例に基づき設置する附属機関の委員の委嘱及び解職並びに任免に関する事。教第19号議案、協議事項20、報告事項2については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものとして非公開としたいと思いますが、御賛同いただけますでしょうか。

（賛同）

（福本教育長）

ありがとうございます。

それでは、議事に入ります。

協議事項18 神戸の子ども居場所フォーラム意見書の提出及び市長・教育長と子どもたちの意見交換会の開催について

（福本教育長）

協議事項18、神戸の子ども居場所フォーラム意見書の提出及び市長・教育長と子どもたちの意見交換会の開催について、事務局より説明をお願いします。

(藤井教科指導課長)

1 ページを御覧ください。概要といたしまして、神戸市では子供が外で遊ばないということによる体力の低下等が課題となっていて、2. に記載してございますけれども、子ども居場所フォーラムとしまして、第1回が昨年12月に開催されました。3月24日の第3回まで開催してございます。その意見を取りまとめて、意見書が市長に提出されているといった状況でございます。その意見書の中では、子供たちの意見を聞く機会を設けるといったことも提案されてございますので、子供たちの意見を施策に生かすため、意見交換会の開催を予定してございます。フォーラムですけれども、2. に記載のとおり3回開催され、メンバーについては、梶木座長のほか記載のとおりでございます。教育委員会事務局から芝田前教育次長が参加するという形になってございます。

意見書については別添のとおりですけれども、2 ページに意見書の要約を記載してございます。意見の1から4まであり、時間、場所、人といった要素等をしっかり確保して、外遊びで子供の日常をワクワクさせるまちをつくっていくということで、その中には子供の意見をしっかり聞いていくといったことも必要ということで、意見書には記載されてございます。

6. 意見交換会の開催概要としまして、小学校については5、6年生対象ですけれども、8月19日に子供の本の森 神戸で、テーマは「外で遊んでる？市長と教育長に聞きたいこと、聞いてほしいこと」といったテーマで開催を予定してございます。中学生については、8月24日にアンカー神戸で、テーマは「神戸で叶えたい将来の夢」ということで予定してございます。意見交換会には久元市長と福本教育長、ファシリテーターとして梶木座長が参加して開催するという予定になってございます。

3 ページ以降には、先ほど申し上げましたフォーラムの意見書を添付してございます。説明は以上です。

(福本教育長)

このような流れで、今回、意見交換会を開催する予定なのですが、何か御意見や御質問等はございませんか。

では、今井委員、お願いします。

(今井委員)

提言書を拝見しましたが、以前、教育委員をされていた梶木先生が座長をされていて、梶木先生は教育委員のときも外遊びの重要性については本当に繰り返しお話しくださっていたので、それをいろいろな方と御意見を集約していただいたということで、本当にそのとおりだなという御意見をまとめていただいていると思います。その中で、学校、校庭の活用であるとか、学校と色々な機関との連携ということも書かれてはございますけれども、そういうことを実現していく上で、この子供たちの意見を聞くということで、今回の意見交換

が企画されているという理解でよろしいでしょうか。

(藤井教科指導課長)

はい。おっしゃるとおりでございます。外遊びをしていく主役は当然のことながら子供たちですので、まずは子供たちの声を聞くといったところです。テーマ自体は小学生については「外で遊んでる？」というテーマですし、中学校についてはもう少し幅を広げたようなテーマにはなっていますが、おっしゃったような趣旨でこの意見交換会では子供たちの意見を聞いて、居場所づくりにつなげていきたいということで考えてございます。

(今井委員)

ありがとうございます。すごくいい企画だと思いますが、集まっていただけのお子さんたちの人数が限られているので、例えばですが、今GIGA端末を利用して、小・中学生の意見を集めるという企画が確か始まっていて、7月に既に第1陣をやっていたと思っていますが、そういうのもまた今後利用されるといったお考えはあるのでしょうか。

(藤井教科指導課長)

意見を聞いていくということについては、これだけでということを考えているわけではございません。もちろんGIGA端末を活用するアンケートも考えられますし、授業といたしますか、学校活動の中で聞けるような場面がないか等、どういった形で子供たちの意見を環境づくりに生かしていけるかということについて、今回で終わりというわけではなくて、この後も考えていきたいと考えてございます。

(今井委員)

分かりました。ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに、この件について、御質問等ございますか。

では、山下委員、お願いします。

(山下委員)

御説明ありがとうございました。私も非常にいい取組だと思います。日本全体としても、子供に関する政策については子供の意見を積極的に取り入れようということですので、ぜひ神戸も先陣を切って、これをやっていければというふうに思っています。これ、1回で終わるのではなく、継続的にということだったので大変安心しました。あと、ばらばらの子供たちの意見を聞くということと同時に、子供たち自身が集まって、自分たちで意見を練り上げていくようなプロセスも今後生まれてくるとすごく素敵なことだなと思いました。

意見ですが、お伝えしたいと思います。

(福本教育長)

ありがとうございました。

ほかによろしいでしょうか。

では、次の案件に参ります。

協議事項19 令和6年度全国学力・学習状況調査の実施結果について

(福本教育長)

協議事項19、令和6年度全国学力・学習状況調査の実施結果について、事務局より説明をお願いします。

(鳥飼教科指導担当課長)

それでは、お手元の資料の令和6年度全国学力・学習状況調査結果(速報)について、報告をさせていただきます。今年度は4月18日木曜日を中心に調査が実施され、無事に終わることができました。

資料の1ページを御覧ください。対象は小学校6年生、中学校3年生、教科は国語、算数、数学でございました。併せて、児童生徒への質問調査と学校への質問調査がございました。質問調査はパソコンからの回答でございました。調査に参加した学校数と児童生徒数は記載のとおりでございます。小・中、義務教育学校を含め、全校が参加いたしました。

1ページに記載しております、2. 調査結果の概要ですが、小学校国語、算数については、正答率が全国と同水準でございました。中学校については、国語は昨年度より改善され、全国と同水準になりました。数学については、良好な結果でございました。

2ページを御覧ください。こちらは児童生徒質問調査の結果の抜粋です。おおむね昨年度と変わらない状況ですが、注視すべきところは2点ございます。1点目は「②自分にはよいところがある」と答えた生徒が、中学校において数値が昨年度より高くなっております。2点目については、「⑩前年度までに受けた授業で、タブレットなどのICT機器をどの程度利用しましたか」という質問において、「週3回以上使用している」と答えた児童生徒の数値が、小・中学校ともに昨年度より上昇いたしましたが、中学校は特に全国平均よりも大幅に下回る結果となり、課題が見られました。

続いて、3ページを御覧ください。こちらは校長が回答した学校質問紙調査の結果の抜粋です。おおむね良好な結果になっておりますが、「⑤児童生徒用タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか」で、週3回以上と答えた割合が数字的には高いことに対しまして、先ほどお示ししました2ページ、児童生徒質問調査の同じ質問に対しての回答と比較すると乖離が見られております。また、「⑥PCタブレットなどの端末

を、どの程度家庭で利用できるようにしていましたか」について、「毎日持ち帰る」と答えた割合は全国平均よりも高く、家庭での活用が定着しつつあります。都道府県別の正答率が7月29日月曜日に速報値として公表されております。併せて、市全体の速報値、教科別平均正答率についても公表しています。学校や個人の調査結果につきましては、小・中学校ともに7月26日金曜日に各校に送付されております。その調査結果を各学校にて分析、検証し、9月中旬に市教委に検証改善計画書を提出する予定となっております。

以上をもちまして、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果についての報告を終わらせていただきます。

(福本教育長)

なお、今後の方針に関わる内容については、教育委員会会議規則第10条第1項第6号により、会議を公開することにより教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障を生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められますので、後ほど非公開の場で協議したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(賛同)

(福本教育長)

ありがとうございます。それでは、今後の方針以外の部分について、御質問はございませんでしょうか。

正司委員、お願いします。

(正司委員)

御報告ありがとうございました。質問というわけではありませんが、たまたま今朝、日本経済新聞を読んでいたら、1ページ特集が組んであって、テストの内容というか、問題の分野別の説明がいろいろ載っていました。もちろん我々教育委員会でも、全体の平均点だけ見ているわけではなくて、分野別にどういう傾向があって、子供たちの学力をどう鍛えるのかというところを慎重に議論していくと思っておりますが、その辺り、点数とか数字だけに踊らされない分析をぜひともお願いしたいと思います。

(福本教育長)

ほかに御質問等ございませんでしょうか。

今井委員、お願いします。

(今井委員)

御説明ありがとうございます。質問ですが、3ページの「②実践的な研修を行っていま

すか」という質問に対する中学校の校長の回答の数値がかなり下がっているのですが、何か原因として思い当たられることがもしありましたら教えていただければと思います。

(鳥飼教科指導担当課長)

もうコロナも落ち着きまして、研修も盛んになってきている現状はありますが、この項目が昨年より下がっていることに関しては、担当課も気になっております。これからまた分析をしていきますけれども、似た項目の回答として、校外研修の数値は上がっておりますので、教員が研修をしていないということではありませんが、校内での意識としては昨年よりは下がっているという現状になります。

(今井委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問等ございませんか。

よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

公開案件は以上となりますが、教育委員の皆様から教育委員会会議で取り上げるべき事項について、何か御意見はございますか。

それでは、本日の公開案件は終了いたします。

閉会 13時45分